

科目ナンバー	SEM-3-004-ky			科目名	課題演習Ⅱ(呉)		
教員名	呉 宣児			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	前期に多様な論文での検討や直接調査を通して報告書を書く学習から身につけたことをベースに、後期には直接各自のテーマを決め、個人のテーマに合わせた文献講読を行う。そして、卒業論文のベースになるようにレビュー論文を執筆することを最終課題とする。						
到達目標	各自の卒論テーマのイメージを定めていくこと、そしてそのテーマと関わる分野の研究成果を網羅しながら文献を読むこと、各自のテーマでレビュー論文を完成させることを目指す。レビュー論文とは、単に文献を読んで羅列的に要約するものではない。多くの文献を検討して、その分野でどこまで研究がなされており、どの部分がまだ解明できていないのか、それぞれの文献における視点がどのように異なるのかなど全体を網羅しつつ、自分はどのような視点で捉えるかを発見する作業である。卒論に向けて、各自のレビュー論文を3年生末まで完成させ、4年生の卒業論文と一緒に論文集を作る。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	・演習型で、全員で質疑討論を行う形の授業である。全員順番に進行状況を発表し、受講生と教員全員で議論し合いながら各自が進むべき方向を探る。・各自卒論のテーマを決めたうえ、そのテーマを扱った多様な文献を読み、調査法や視点によるテーマの論じ方の違いを学習し、卒業論文ではどんな視点どんな方法を用いるかに関しても見通しができるようにする。・論理性を持つ訓練、論文を書くときの基本ルールの熟知のための練習も行う。・テーマは受講生個人の興味に合わせて決めるが、いつも全員で議論することを原則とする。他の受講生の発表・発想・やり方を見ながら互いに学ぶことが大事である。指定の資料やコメントはムードルで共有する。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修	○		
受講条件 前提科目	呉ゼミ3年生。時間割上可能であれば、＜心理学研究法＞を受講することを進める。						
アセスメントポリシー及び評価方法	(1)通常の授業への取り組み(グループ討論での発言や参加態度など)20%(1)各自の担当発表・提出物・課題実行へのプロセス(30%)(3)最終的に書き上げた課題演習論文(50%)。注意:公欠の場合でも、その日の提出物などが未提出の場合、(2)の部分で減点される。欠席する場合は、各自必ずその日の資料や課題を確認すること。						
教材	受講者のテーマや方法論によって、必要な教材が異なるので、個人に対応しながら準備する。						
参考図書	①動きながら識る、関わりながら考える心理学における質的研究の実践 伊藤哲司・能智正博・田中共子(編著) ナカニシヤ出版 2005年②よくわかる卒論の書き方 白井利明・高橋一郎著 ミネルヴァ書房 2010年③フィールドワークの技法と実際 蓑浦康子(編著)ミネルヴァ書房 1999年その他は、受講生のテーマや用いる方法に合わせて個別に紹介する。その他、個々人に合わせて授業時間に紹介する。						
内容・スケジュール	<p>&lt;前期の反省と後期の計画発表(全員)&gt;</p> <p>・期末レポートに関するフィードバックと論文の書き方に関するミニ講義</p> <p>・課題:各自自分の卒業論文のテーマについて考えて書いてくる。</p> <p>&lt;レビュー論文はどのように書くかについてミニ講義&gt;</p> <p>・各自の卒業論文について発表・討論</p> <p>・文献検索について講義し、パソコン室で検索の仕方を身につける。</p> <p>&lt;文献検索&gt;</p> <p>各自パソコン室や図書館で文献検索を行い、自分が読むべき文献を集める。 集めた文献のなかから、まずは一つを選び、丁寧に読む。</p> <p>&lt;自分の卒業論文テーマに関する文献を最低限2つ読んで、レジメを作成し発表を行う&gt;</p> <p>毎回3～4人発表、討論・コメントを行いながら互いに学んでいく。</p> <p>&lt;レビュー論文の書き方ミニ講義&gt;</p>						

<p>・レビュー論文の例を用いながら講義。</p> <p>＜レビュー論文作成の途中過程を発表＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表した文献も含めて最低限5個の文献を読み、それを総合的にまとめる準備として、文献を材料に、自分なりの視点で図表や文書を作成して発表する。</li> <li>・毎回3～4名の発表と討論、コメント</li> </ul> <p>＜レビュー論文ポスタ発表会＞</p> <p>完成したレビュー論文のエッセンスをポスターに表現し、相互発表会を行う。</p> <p>＜期末レポートとして、レビュー論文を修正し完成度をあげて指定日まで提出。＞</p>
--

Number	SEM-3-004-ky	Subject	Junior Specialty Seminar II		
Name	呉 宣児 (Oh Seon Ah)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>Based on learning from the study of writing reports through a variety of studies and direct surveys in the first half semester, in the latter semester involves directly deciding students' own themes, reading the literature related to personal themes, and writing a review paper to make the basis of a graduation thesis.</p>				